

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
	基本目標1									
1-(1)-①1	子どもの人権の尊重と安全・安心な環境づくり	(1) 子どもの人権の尊重	① 子どもの人権に関する意識啓発	「子どもの権利条約」や人権についての啓発	人権推進課	A:実施	市内各種イベント時や人権センターで、子どもの人権に関する啓発活動を行っている。また、ファミリーサポート事業講習会に課から講師を派遣し、「子どもの権利と虐待に関すること」の講座を担当し、「子どもの権利条約」についての理解促進や啓発活動を行っている。課として、人権センターと児童館との連携を深める中で、子どもの人権に関する取り組みや啓発活動を進めている。木津川市人権啓発協議会において、人権啓発映画上映会参加者に子どもむけ「子どもの権利条約(抄訳)」を配付した。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(1)-①2				子どもの人権問題に関する啓発	人権推進課	A:実施	前述のとおり、子どもの人権問題に関する啓発活動や取り組みを行っている。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(1)-②1		(2) 子どもに対する人権尊重の意識づくり	② 子どもに対する人権尊重の意識づくり	人権感覚を育む保育・教育の推進	学校教育課	A:実施	各学校において、人権教育・道徳教育を進めている。	2:継続・維持	継続して人権教育を推進する。	
1-(1)-②2					こども宝課	A:実施	人権保育の充実を図るため、保育士人権学習会及び研修会に参加した。今年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、園内での研修・意見交換を行った他、保育協会による録画研修の視聴等規模を縮小して実施。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(1)-②2				共生の態度の育成	学校教育課	A:実施	各学校において、人権教育・道徳教育を進めている。	2:継続・維持	継続して推進する。	
1-(1)-②3				幼稚園、保育所、認定こども園、学校、関係機関との連携による人権教育の推進	人権推進課	A:実施	木津川市人権教育指導者連絡会を組織し、人権教育・啓発の取り組みを行っている。また、市内各保・幼・小・中学校等に対し人権研修講師料助成を行い、子どもの人権に関する意識啓発を図っている。令和3年度については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各校・園では大幅に中止された事業が多く、助成金交付実績は、5団体、90千円。参加者数合計871人であった。	2:継続・維持	引き続き、市内の校・園等に対する人権講演会講師料助成を行い、人権問題についての啓発を推進していく。	
					学校教育課	A:実施	木津川市人権教育研究会を定期的実施。	2:継続・維持	継続して推進していく。	
1-(1)-③1				(3) 子どもに関する相談・支援体制の充実	③ 子どもに関する相談・支援体制の充実	学校での生徒指導や教育相談の充実	学校教育課	A:実施	各学校において、教員による個に応じた生徒指導の他、教育相談活動やカウンセラーによる相談を実施している。	2:継続・維持
1-(1)-③2		カウンセリングルームやスクールカウンセラー及び心の教育相談員の相談・支援体制の充実	学校教育課			A:実施	全ての小学校にスクールカウンセラーの配置を完了している。令和3年度も市費によるスクールカウンセラーの配置に加え、府費による巡回を活用し全小学校に年間を通じて派遣を行った。	2:継続・維持	継続して相談体制の充実を図る。	
1-(1)-③3		適応指導教室の充実	学校教育課			A:実施	指導員を1日5人体制で、継続して指導を行った。	2:継続・維持	現状の体制を維持し、指導を行う。	
1-(1)-③4	スクールソーシャルワーカーの活用による他機関との連携	学校教育課	A:実施			3中学校にそれぞれ1名の教育相談員を配置するとともに、週10～12時間カウンセリングルームを開設した。	2:継続・維持	継続して相談体制の充実を図る。		

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
1-(1)-③5				民生児童委員・主任児童委員等関係団体等との連携強化	社会福祉課	A:実施	新型コロナウイルス拡大防止のため、全民生児童委員を対象として行っている府主催の人権啓発研修を各单位民児協の定例会にて実施した。	2:継続・維持	引き続き、研修等を通して子どもの人権に関する啓発を行う機会を作り、相談・支援体制を充実させていく。	
1-(2)-①1	(2) 児童虐待の防止	① 子どもの虐待防止と対応の充実		市民に対する児童虐待に関する意識啓発と通報窓口の周知	健康推進課	A:実施	市ホームページにて虐待防止月間の周知を行う。 例年11月の虐待防止月間に実施している木津駅前での啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	2:継続・維持	継続実施していく。	
1-(2)-①2				育児のハイリスク者等の早期発見・早期介入	健康推進課	A:実施	養育支援訪問を実施した。	2:継続・維持	継続実施していく。	
1-(2)-①2					こども宝課	A:実施	保育コンシェルジュや子育て支援センターにおいて子育て支援情報の提供を行い、気軽に相談できるような支援体制に努め、関係機関と連携し早期発見及び支援に繋げた。	2:継続・維持	継続して相談・支援体制を充実させていく。	
1-(2)-①3				民生児童委員・主任児童委員や関係団体等との連携強化	社会福祉課	A:実施	主任児童委員の事業として、市内の保育園、幼稚園に消毒液を配布した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、木津民児協親子交流事業「たのしいひろば」は中止、乳児前期検診が個別に医療機関での実施となったため、2か月訪問の機会に保健師より啓発グッズの配布を行った。	2:継続・維持	引き続き民生児童委員活動を通じた虐待防止への取り組みを行う。	
1-(2)-①4				要保護児童対策地域協議会の開催の充実	健康推進課	A:実施	代表者会議 1回実施。 実務者会議 6回実施。 ケース会議 40回実施。	2:継続・維持	継続実施していく。	
1-(2)-①5					健康推進課	A:実施	関係機関との連携により支援を実施した。	2:継続・維持	継続実施していく。	
1-(2)-①5					こども宝課	A:実施	教育・保育施設に対し、虐待の早期発見と早期対応についての周知を行い、関係機関との速やかな連携による支援を図った。	2:継続・維持	継続して支援体制の強化を図る。	
1-(3)-①1	(3) 安全な環境づくり	① 交通安全対策の推進		登下校の安全を見守るボランティアの活動支援	学校教育課	A:実施	安心して活動していただけるよう、ボランティア保険への加入と資材の提供を行った。	2:継続・維持	継続してボランティア活動の支援を行う。	
1-(3)-①2				木津川市通学路安全推進会議による通学路の安全確保	学校教育課	A:実施	関係機関が集まり、通学路の安全確保について協議を行い、対策を講じた。	2:継続・維持	継続して関係機関と連携し、協議を行う。	
1-(3)-①3				ドライバーに対する安全運転等の呼びかけ	危機管理課	A:実施	自動車運転手に対して、広報誌・街頭啓発により交通ルールの順守、マナーの向上を呼びかけた。	2:継続・維持	今後も街頭啓発活動、広報活動を継続し、引き続き交通安全の推進を図る。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
1-(3)-①4				1 自転車の走行マナーについての啓発	危機管理課	A:実施	自転車利用者に対して、広報誌・街頭啓発により、自転車の走行マナー向上を図った。	2:継続・維持	今後も広報誌への掲載及び街頭啓発活動を実施することで、引き続き交通安全の推進を図る。	
1-(3)-①5				1 子どもに対する交通安全教育の推進	学校教育課	A:実施	交通安全教室の実施については、新型コロナ感染拡大の影響により実施していないが、警察署より交通安全動画を配布され、各小中学校に配布し啓発に努めた。	2:継続・維持	継続して交通安全教室を推進していく。	
					こども宝課	A:実施	保育所において交通安全講習会を実施した。(警察作成の交通安全に関するDVDによる講習) 園外活動時において、交通ルールの指導を行った。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(3)-①6				1 点検等に基づく危険箇所の改修	危機管理課	A:実施	木津川市通学路交通安全プログラムにおいて通学路の点検を行い、交通安全啓発看板の設置、視認性が低下した路面標示の更新、カーブミラーの新設・改修を行った。	2:継続・維持	今後も同プログラムの活動を通じて、危険箇所の把握、改修をし、交通安全の推進を図る。	
					学校教育課	A:実施	学校から要望のあった危険箇所を確認し、カーブミラー設置、横断歩道や道路標示の表示の修理などを行った。	2:継続・維持	継続して危険箇所確認、安全対策の改善を行う。	
1-(3)-①7				1 危険箇所を含む園外活動ルートの変更	学校教育課	A:実施	危険箇所を把握した上でルートを設定した。また、横断旗の利用を徹底した。	2:継続・維持	継続して危険箇所を把握し、対応する。	
					こども宝課	A:実施	危険箇所をもとに、園外活動のルートを再確認した他、「木津川市 子供の移動経路／通学路等の安全推進会議」において国・府・警察等関係機関と連携し安全対策に関する協議や意見交換を行った。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(3)-①8				1 自転車通学安全補助金(ヘルメット購入補助金)の支給	学校教育課	A:実施	自転車通学の生徒に通学用ヘルメット購入補助金を交付した。	2:継続・維持	自転車通学生徒の安全のため引き続き補助を行う。	
1-(3)-①9				1 交通遺児奨学金窓口	社会福祉課	A:実施	遺児福祉手当(義務教育終了前の遺児を養育する保護者)延べ524人の児童に月額2千円を支給した。	2:継続・維持	継続して実施する。	
1-(3)-②1			② 防犯対策の推進	1 教職員の防犯意識向上のための研修会の実施	学校教育課	A:実施	教職員の防犯意識向上のために各校で防犯管理体制の整理を行った。	2:継続・維持	防犯意識向上のため、引き続き研修会を実施していく。	
1-(3)-②2				1 子どもの防犯意識向上のための訓練等の定期的な実施	学校教育課	A:実施	子どもの防犯意識向上のため、各学校において防犯訓練を実施した。	2:継続・維持	防犯意識向上のため、引き続き訓練を実施する。	
1-(3)-②3				1 危機対応能力を身につける安全教育の実施	学校教育課	A:実施	各学校単位で不審者侵入を想定した防犯訓練を実施した。	2:継続・維持	危機対応能力を身につけるため、引き続き訓練を実施する。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
1-(3)-②4			I 地域実態に応じた学校安全マップの活用・学校施設の安全の検証及び対策	I 地域実態に応じた学校安全マップの活用・学校施設の安全の検証及び対策	学校教育課	A:実施	各学校単位で、安全マップを作成した。	2:継続・維持	学校安全マップの作成・活用を促す。	
1-(3)-②5		I 青色パトロール事業の推進		I 青色パトロール事業の推進	学校教育課	A:実施	登下校中の子どもの安全を守るため、青色パトロールを実施。	2:継続・維持	子どもの安全を守るため、引き続き青色パトロールを実施する。	
1-(3)-②6		I 小学校入学時の防犯ブザーの配付		I 小学校入学時の防犯ブザーの配付	学校教育課	A:実施	小学校入学時に防犯ブザーを配布し、使い方を指導した。	2:継続・維持	子どもの安全のため、継続して防犯ブザーの配布を行う。	
1-(3)-②7		I 登下校の安全を見守るボランティアの活動支援(再掲)		I 登下校の安全を見守るボランティアの活動支援(再掲)	学校教育課	A:実施	安心して活動していただけるよう、ボランティア保険への加入と資材の提供を行った。	2:継続・維持	継続してボランティア活動の支援を行う。	
1-(3)-②8		I 木津川市通学路安全推進会議による通学路の安全確保(再掲)		I 木津川市通学路安全推進会議による通学路の安全確保(再掲)	学校教育課	A:実施	関係機関が集まり、通学路の安全確保について協議を行い、対策を講じた。	2:継続・維持	継続して関係機関と連携し、協議を行う。	
1-(3)-②9		I 京都府警防災・防犯情報メールを活用した子ども安全対策の推進		I 京都府警防災・防犯情報メールを活用した子ども安全対策の推進	学校教育課	A:実施	京都府警防災・防犯情報メールを活用するよう、学校へ通知した。	2:継続・維持	引き続き、京都府警防災・防犯情報メールの活用を促進する。	
	I 園児・児童・生徒の保護者に対し、防災情報メールの登録の推進を図った。			危機管理課	A:実施	園児・児童・生徒の保護者に対し、防災情報メールの登録の推進を図った。	2:継続・維持	今後も引き続き、防災情報メールの登録の推進を図る。		
1-(3)-③1		③ 防災対策の推進		I 危機管理マニュアルの再点検と危機管理体制の整備	学校教育課	A:実施	各学校において危機管理マニュアルを見直し、危機管理体制の整備を行った。	2:継続・維持	少なくとも年1回、危機管理マニュアル及び危機管理体制の見直しを図る。	
	こども宝課				A:実施	教育・保育施設において作成済み。再点検と危機管理体制の確認等を行った。	2:継続・維持	マニュアルの内容を精査し、危機管理体制の徹底を図る。		
1-(3)-③2			I 教職員の防災意識向上のための研修会の実施	I 教職員の防災意識向上のための研修会の実施	学校教育課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教職員の防災意識向上のための市教委主催の研修会は実施していないが各学校単位で研修会を実施した。	2:継続・維持	防災意識向上のため引き続き研修会を実施していく。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
1-(3)-③3				I 学校等における避難訓練等防災教育の実施	学校教育課	A:実施	防災意識向上のために、各学校において、避難訓練を実施した。防災ハンドブックを作成し、幼稚園、小・中学校で配布した。	2:継続・維持	防災意識向上のため引き続き避難訓練を実施していく。	
					こども宝課	A:実施	幼稚園・認定こども園・保育施設で避難訓練については毎月実施した。防災教育においては、紙芝居等の教材を使用し、子どもの防災意識を高めた。	2:継続・維持	継続して実施する。	
					危機管理課	A:実施	自主防災組織との連携強化並びに組織設立の促進を図った。また、地域における防災リーダーの育成のため、防災士養成講座を開催した。	2:継続・維持	今後も引き続き、自主防災組織との連携強化並びに組織設立の促進を図る。	
1-(3)-③4			I 地域における防災活動の促進	危機管理課	A:実施	自主防災組織との連携強化並びに組織設立の促進を図った。また、地域における防災リーダーの育成のため、防災士養成講座を開催した。	2:継続・維持	今後も引き続き、自主防災組織との連携強化並びに組織設立の促進を図る。		
1-(3)-③5			I 避難行動要支援者名簿の整備による災害時の安否確認体制の推進	社会福祉課	A:実施	名簿を整理し、また通常時から名簿情報を関係機関(地域のネットワーク)と共有できるように対象者に対し情報提供に係る同意を求めている。	2:継続・維持	引き続き対象者の同意を求めるとともに、より効率的に支援していく。		
	基本目標2									
2-(1)-①1	子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり	(1)次代の親の育成	① 子育てへの関心の喚起	I 中学校における保育実習等乳幼児とのふれあい体験の充実	学校教育課	A:実施	中学校家庭科の学習で保育実習等については、新型コロナ感染拡大の影響で実施していないが、保育や乳幼児とのふれあいについての学習を実施した。	2:継続・維持	継続して、保育実習等の体験の充実を図る。	
					こども宝課	B:検討・計画中	職場体験や家庭科での保育実習を実施し、子どもに対する関心を高め、将来保育士になりたいと思う保育人材の育成機会を設けるための事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の実施は見合わせた。	2:継続・維持	継続して実施する。	
2-(1)-①2				I 子育ての楽しさのPR	健康推進課	A:実施	マタニティ広場や乳幼児相談・健診・つどいのひろば等で、楽しく子育てができるように助言した。	2:継続・維持	継続実施していく。	
					こども宝課	A:実施	保育コンシェルジュ・子育て支援センターでの情報提供、また、子育て支援サイト・SNSを利用した子育てアプリで情報発信を実施した。	2:継続・維持	今後、子育てアプリの充実に向けたリニューアルを実施する。	
2-(1)-①3				I 子育て関連サービスや相談窓口に関する情報提供	健康推進課	A:実施	子育て世代包括支援センター、マタニティ広場や乳幼児相談・健診等で、楽しく子育てができるように助言し、子育て支援センターや広場・サロン等の紹介をした。	2:継続・維持	継続実施していく。	
					こども宝課	A:実施	保育コンシェルジュ・子育て支援センターでの情報提供や、子育て支援サイト・SNSを利用した子育てアプリ等で情報発信を行った。	2:継続・維持	今後、子育てアプリの充実に向けたリニューアルを実施する。	
2-(1)-②1			② 有害環境対策や非行等問題行動への対応の推進	I 青少年関係団体との連携による有害環境の浄化	社会教育課	A:実施	例年、夜間パトロール及び街頭啓発を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	2:継続・維持	事業の引き続き実施のため、コロナ禍での開催方法等を検討する。	
2-(1)-②2				I 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成	学校教育課	A:実施	非行防止教室を実施して規範意識の醸成を図り、様々な話し合い活動を通じてコミュニケーション能力の育成を図っている。	2:継続・維持	引き続き、規範意識の醸成とコミュニケーション能力の向上を図って	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
2-(1)-②3				I 携帯電話やスマートフォン等の安全な使い方の啓発やモラル等適切な指導	学校教育課	A:実施	各学校で、情報モラルについて資料を活用した学習を行った。	2:継続・維持	引き続き情報モラル等に関する学習を行う。	
					社会教育課	A:実施	例年、青少年の健全な育成に関する条例に基づく一斉立入調査において、書店及び刃物取り扱い店にフィルタリングサービスに係る情報提供調査・啓発を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	2:継続・維持	事業の引き続き実施のため、コロナ禍での開催方法等を検討する。	
2-(1)-②4				学校教育課	A:実施	すべての小中学校でタブレット型パソコンによる、情報活用に係る教育活動を実施できた。	2:継続・維持	継続して取り組み、ツールを活用できる力の育成に努める。		
				社会教育課	A:実施	高校生が講師となり小学生を対象に「わくわくパソコン教室」、大人対象に「生徒が教えるパソコン教室」の実施した。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
2-(1)-②5				I 青少年の犯罪防止のための保護司会との連携	社会教育課	C:未着手	例年、青少年育成委員会のみでの事業は実施しているが、保護司会とは連携していない。(青少年育成委員会での啓発活動について、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止とした。)	2:継続・維持	青少年委員会、保護司会との連携を図る。	
					社会福祉課	A:実施	青少年の更生保護に関する相談・支援(更生保護サポートセンター、加茂支所内、月・水・金10:00~16:00) 相楽保護区保護司会、木津川市保護司会・木津川市更生保護女性会と連携し、社会を明るくする運動の取り組みを行い、青少年の犯罪防止等を推進している。(R3年度は街頭啓発はなし。)	2:継続・維持	今後も保護司会と連携し、青少年の更生保護の相談支援の実施や研修会を実施継続。	
2-(1)-②6	I 生徒指導の推進	学校教育課	A:実施	各学校において、生徒理解に努め、個に応じた生徒指導に取り組んだ。	2:継続・維持	引き続き、すべての学校において生徒指導の推進に取り組んでいく。				
2-(2)-①1	(2) 心豊かにたくましい人を育てる教育環境の整備	① 教育・保育内容の充実	I 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実	こども宝課	A:実施	一人ひとりを大切に教育・保育を進める中で、自尊感情を育て、信頼関係を深める教育及び保育の充実に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は最小限の実施となった。	2:継続・維持	継続して実施する。		
2-(2)-①2			I 保幼小連携教育の推進	学校教育課	A:実施	保育園・幼稚園・小学校の交流をねらいとした連携事業を実施した。	2:継続・維持	引き続き、連携を実施する。		
	こども宝課	A:実施		小学校への接続がスムーズに移行できるよう保育園・幼稚園と小学校との交流を通じた連携事業(運動会の競技参加、体験入学等)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面実施は中止とし、各校で直接交流しない形でアイデアを凝らした形(高学年が学校紹介の紙芝居や動画の作成等)で実施した。また、保幼小連携については、対面と電話により行った。	2:継続・維持	継続して実施する。				

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
2-(2)-①3				保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所等において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保	こども宝課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、実施可能なリモートによる職員研修の実施等、幼保連携型認定こども園、保育所で質の高い教育・保育の提供体制強化を推進。	2:継続・維持	認定こども園で継続して質の高い教育・保育の実施	
2-(2)-①4				認定こども園の設置に向けた関係課との連携	こども宝課	A:実施	保護者ニーズに柔軟に対応できる教育・保育の提供体制を強化するため、関係部局と連携し検討。	2:継続・維持	継続して取り組む。	
2-(2)-①5				多様な教育・保育ニーズに柔軟に対応できるよう、保育所の民営化への取組み	こども宝課	A:実施	令和2年度の木津川台保育園の民営化兼認定こども園化で実施計画における民営化は終えたが、実施計画に基づく公立保育園の統廃合、認定こども園化に向けた検討を行った。	2:継続・維持	引き続き公立保育所の民営化等実施計画に基づき検討を進める。	
2-(2)-①6				就学前の多様な教育・保育ニーズに対しては、公営に比べ民間運営の方が柔軟で早期の対応が可能であると考えられることから、民間活力の活用を図る	こども宝課	A:実施	令和3年度より小規模保育事業及び家庭的保育事業を新たに開設した。民間園での多様な教育・保育ニーズに対応した子育て支援事業を実施した。	1:拡充	継続して取り組む。	
2-(2)-①7				就学前から読書に親しむ活動の推進	学校教育課	A:実施	木津川市子どもの読書活動推進計画に基づき、それぞれの機関において活動を実施した。	2:継続・維持	引き続き活動を実施する。	
					こども宝課	A:実施	豊かな情操を育むため、教育・保育施設での読み聞かせや園文庫の貸し出し等を実施した。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
2-(2)-①8				地域との連携の推進	学校教育課	A:実施	学校評議員として、地域の方々に学校運営に参画していただいている。ボランティアとして授業支援や、挨拶運動として連携を推進した。	2:継続・維持	引き続き連携を推進する。	
					こども宝課	A:実施	園児と高齢者との交流や夏祭り等における地域住民との交流、主任児童委員との連携等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の実施は最小限とし、主任児童委員との連携として1度の話し合いの話し合いの場を設けた。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
2-(2)-②1			② 学校教育内容の充実	学習意欲の向上と学習習慣の確立	学校教育課	A:実施	補充学習による学習意欲の向上や、学習の手引き等の活用による家庭と連携した低学年からの学習習慣の確立を推進した。	2:継続・維持	継続して学習意欲の向上と学習習慣の確立に取り組む。	
2-(2)-②2				基礎的・基本的な知識・技能の習得	学校教育課	A:実施	補充学習やICT機器を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の習得に努めた。	2:継続・維持	引き続き取組内容の充実と、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。	
2-(2)-②3				活用する力の育成	学校教育課	A:実施	研究指定校事業や授業におけるグループ活動により、活用する力の育成を図った。	2:継続・維持	引き続き授業を工夫することにより、活用する力の育成を図る。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理 番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題 等	
2-(2)-②4			① 特別の教科道徳を中心とした、道徳教育の推進	特別の教科道徳を中心とした、道徳教育の推進	学校教育課	A:実施	市道徳教育研究会を中心に指導方法の工夫改善を行い、道徳教育の推進を図った。	2:継続・維持	引き続き指導方法の工夫改善と評価方法に関する研究を行っていく。	
2-(2)-②5				読書活動の推進	学校教育課	A:実施	各小中学校や幼稚園において読書活動の推進に取り組んだ。	2:継続・維持	引き続き、それぞれの組織において推進に努める。	
2-(2)-②6				キャリア教育の推進	学校教育課	A:実施	道徳教育の一環としての授業や、キャリアパスポート事業として児童生徒の自分の良さを見つめ直し、自己のキャリア形成に生かす教育を行った。	2:継続・維持	引き続き発達の段階に応じた系統的な記キャリア教育を推進していく。	
2-(2)-②7				情報教育の推進	学校教育課	A:実施	ICT機器の整備を進め、これらを活用した情報教育の推進と、情報モラル教育を実施できた。	2:継続・維持	引き続き、情報教育を推進していく。	
2-(2)-②8				国際理解教育の推進	学校教育課	A:実施	外国人ゲストを招いた交流学习等の実施した学校もあり、国際理解教育を推進した。	2:継続・維持	引き続き、国際理解教育を推進していく。	
2-(2)-②9				環境教育の推進	学校教育課	A:実施	各学校において環境学習に取り組んだ。	2:継続・維持	引き続き、環境教育を推進していく。	
2-(2)-②10				学校の組織力と教職員の資質向上	学校教育課	A:実施	教職員研修等を実施し、学校の組織力と教職員の資質向上を図った。	2:継続・維持	引き続き、学校の組織力と教職員の資質向上に努める。	
2-(2)-②11				魅力ある学校づくり	学校教育課	A:実施	それぞれの学校の状況に応じた教育の推進を図るため「特色ある学校づくり推進事業」を実施した。	2:継続・維持	引き続き、魅力ある学校づくりを推進していく。	
2-(2)-③1				③ 教育・保育施設・設備の整備・充実	幼稚園、保育所の施設・設備の整備・充実	こども宝課	A:実施	施設の修繕を実施した。	2:継続・維持	安全を確保できるように、適宜、改修・修繕等を実施。
					安心安全な施設運営ができるよう、適宜施設の修繕工事等を実施。	こども宝課	A:実施	2:継続・維持	安全を確保できるように、適宜、改修・修繕等を実施。	
2-(2)-③2				小・中学校の施設・設備の整備・充実	学校教育課	A:実施	城山台小学校ひだまりホール(児童クラブを併設した第2体育館)の新築工事を行った。 木津小学校及び相楽小学校の改築工事に着手した。	2:継続・維持	安全を確保できるように、適宜、改修・修繕等を実施。	
2-(2)-③3			学校の情報化や図書・教材の整備など、教育環境の充実	学校教育課	A:実施	城山台小学校の児童生徒数増加に伴い、ICT機器や図書システムの整備など教育環境の充実を図った。	2:継続・維持	引き続きより良い教育環境の整備を図っていく。		



## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価											
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等			
2-(3)-①1	(3) 家庭や地域の教育力の向上	① 家庭の子育て力の向上	I 地域の幼児教育センター的役割を果たすための人的・物的教育機能や施設の開放	I 地域の幼児教育センター的役割を果たすための人的・物的教育機能や施設の開放	こども宝課	A:実施	公立幼稚園において、親子で参加できる事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参観等必要最小限とした。	2:継続・維持	引き続きコロナ感染状況を考慮しながら事業を実施していく。			
2-(3)-①2					学校教育課	A:実施	小1プロブレムと保護者の不安の解消を図るために、小学生が次年度入学予定児童にメッセージカード等を作成し、保護者対象の入学説明会で渡した。令和3年度より「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」として実施した。	2:継続・維持	継続して、体験入学等を実施する。			
2-(3)-①3					健康推進課	A:実施	各健診・乳幼児相談等を実施するとともに、随時、来所・電話・家庭訪問を行った。	2:継続・維持	継続実施していく。			
					こども宝課	A:実施	保育コンシェルジュ、地域子育て支援センターでの電話相談又は来所相談の実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。			
2-(3)-①4					健康推進課	A:実施	つどいの広場において、乳幼児期の子育て中の親子が気軽に集い、子育て講座や親子教室の開催による親子のふれあい交流を通じて、保護者(父・母)協働による取組みを実施。	2:継続・維持	継続実施していく。			
					こども宝課	A:実施	新型コロナウイルス感染症の影響による一時閉所や各種講座の開催自粛があったが、感染拡大防止を徹底しながら、子育て相談、子育て支援に関する各種講座などを実施した。	2:継続・維持	感染対策を徹底したうえで引き続き実施する。			
2-(3)-①5					健康推進課	A:実施	乳幼児相談来所の10～11か月児の保護者617名に対して、絵本読み聴かせの足がかりとなるよう絵本の案内をし手渡した。	2:継続・維持	継続実施していく。			
2-(3)-①6					社会福祉課	A:実施	社会福祉協議会主催の「おもちゃの図書館」ではおもちゃの貸し出しを行っている。子ども達にたくさんのおもちゃに触れる機会を提供するとともに、子育て中の方の交流と情報交換を促進している。	2:継続・維持	今後も様々な事業を通して、親子が触れ合える場を提供する。			
2-(3)-②1					② 地域人材の育成・活用	I 木津川市地域で支える学校教育推進事業	I 木津川市地域で支える学校教育推進事業	社会教育課	A:実施	5中学校区に地域学校協働本部を設置し、地域コーディネーターを中心に小中学校からの支援要望に基づき地域ボランティアの協力でり学校支援事業を実施。	2:継続・維持	支援事業の充実に向けコーディネーターの育成、ボランティアの確保が課題である。
2-(3)-②2								学校教育課	A:実施	地域学校協働本部の活動の一環として、中学校区ごとにボランティアのリストを作成し、学校の支援を行った。	2:継続・維持	継続して、事業を実施する。
2-(3)-②3	高齢介護課	A:実施	年間を通じ、登下校時の子どもの安全確保を行う見守り活動を展開し、不審者等からの安全確保及び交通事故防止を図るとともに、老人クラブの基盤強化と活性化を図った。 各老人クラブ個々に実施(地元要請等により一員を担う)	2:継続・維持				登下校時の子どもの安全確保を行う見守り活動を今後も継続して行い、地域の支え合いによる安心・安全なまちづくりを展開する。				

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価												
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等				
2-(4)-①1	(4) 多様な体験機会の充実	① 多様な体験・交流機会の充実	子どもの安全な居場所づくりや心身の健全な育成を図る児童館活動の内容の充実	社会福祉課	A:実施	コロナ禍の中、各種教室の参加者を減らし十分な空間を作るなど、感染予防措置等をして工夫しながら実施した。	2:継続・維持	児童館事業の内容をさらに充実し、引き続き実施する。					
2-(4)-①2						多様な交流と学びの機会などを提供する公民館事業の推進			社会教育課	A:実施	地域の高齢者や障がい者施設を招待し、地域住民との交流を図り多様な理解と認識を深める事を目的とする「ふれあいの集い」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度は中止とした。	2:継続・維持	公民館事業の内容充実、参加団体の集客活動強化を図る。
2-(4)-①3						スポーツ・レクリエーション活動の推進			社会教育課	A:実施	スポーツ推進委員と連携して各種事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの令和3年度事業を中止した。開催調整が整ったマイパック大会を実施し、今後の推進活動のため、ニュースポーツなど各種研修を実施した。	2:継続・維持	内容充実、集客活動強化を図る。
2-(4)-①4						地域の文化財を学ぶ機会の充実			文化財保護課	A:実施	・恭仁小学校(教員対象)での出前授業を実施。 ・泉川中学校の夏休みの課題(市内文化財を学習する)の補助。具体的には、問い合わせに答える、資料提供等。 ・加茂小学校6年生が総合的な学習の時間で作成した「ふるさと加茂の魅力をアピールするチラシ」を配架。	2:継続・維持	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年に比して出前授業の件数が減少したが、継続して実施予定。
2-(4)-①5						社会科副読本の充実と活用			学校教育課	A:実施	市立小学校の教職員で作成した社会科副読本「わたしたちの木津川市」を地域学習に活用した。	2:継続・維持	引き続き、地域学習に活用していく。
2-(4)-①6						フィールド学習の推進			学校教育課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の施設や文化財などを直接見て体験するフィールド学習は実施できなかった。	2:継続・維持	引き続きフィールド学習を推進する。
2-(4)-①7						芸術演劇鑑賞事業の活用			学校教育課	A:実施	本物の文化・芸術に触れる機会を持つため芸術演劇鑑賞を行った。	2:継続・維持	引き続き文化・芸術活動を推進するため、芸術演劇鑑賞を実施する。
2-(4)-①8						市内文化施設の積極的な活用			社会教育課	A:実施	各種催しの開催や文化振興事業として各種文化教室を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度においても一部開催中止あり。	2:継続・維持	市民の文化活動の拠点となる施設であり、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう施設・設備の更新を行っていく。
2-(4)-①9						地域体験活動事業の推進			学校教育課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の施設や文化財など直接見て体験する地域体験活動は実施できなかった。	2:継続・維持	引き続き地域体験活動を推進する。
2-(4)-①10						子どもの知的好奇心の醸成を図る取組の展開			学校教育課	A:実施	講師を招き、子どもの知的好奇心をくすぐるための授業を実施した。	2:継続・維持	引き続き知的好奇心の醸成を図っていく。

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
2-(4)-①11				図書館における子育て支援	社会教育課	A:実施	<b>■行事の実績</b> おはなし会 お楽しみ会・工作・体験等 映画(児) 中央 3回14人 1回22人 6回58人 加茂 12回70人 2回21人 山城 7回54人 1回8人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、行事を中止または縮小。 <b>■新小学1年生に図書館スタートセットの配布</b> 市内各小学校 861人 市内小学校入学者以外には、申し出があれば配布。 <b>■健康推進課におけるブックスタート事業へ絵本リストを提供し協力。</b> <b>■図書展示等による読書支援</b>	2:継続・維持	各事業は概ね好評をいただいている。引き続き、図書館として、更に有意義で効率的な事業を実施していくために、新しい生活様式に鑑みた行事開催の方法について検討し、必要な対策、内容の充実を図っていく。	
2-(4)-①12				新・放課後子ども総合プログラムの推進	社会教育課	A:実施	小学校区(木津・相楽台・高の原・城山台・南加茂台・上狛・棚倉)、南加茂台公民館を拠点に家庭・地域・学校・行政が連携し、地域の大人の見守りの中、自由に遊ぶ、学べる場所を提供する活動。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令で、11月～12月の期間に4教室のみで感染対策に取組みながら開催した。	2:継続・維持	子どもたちに安心・安全な遊び場を提供し、多様な学習や体験の機会を与えるために多くの方の支援が必要である。また、木津川市子ども子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を全ての小学校における整備を推進する。今後は、現在開設している各放課後子ども教室の体制や活動の充実を図りながら、将来的には全ての小学校区での開設を検討していく。	
2-(4)-①13				子どもの意見表明の機会づくり	学校教育課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、少年の主張大会や、校内弁論大会・スピーチコンテストなどの取組は実施できなかったが、授業の中で対策をしながら意見表明の機会づくりを行った。	2:継続・維持	引き続き、機会づくりを行っていく。	
					社会教育課	A:実施	例年、小中学生による少年の主張大会を実施。また、市大会の成績上位者は相楽少年の主張大会に出場。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止とした。	2:継続・維持		
2-(4)-②1			② 次代を担う若者の自立の支援	「KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業」等の活用	学校教育課	A:実施	事業を活用し、各小学校にて清掃活動等を実施した。	2:継続・維持	引き続き事業を活用し、仕事体験等を行う。	
2-(4)-②2				発達段階に応じた体系的なキャリア教育の推進	学校教育課	A:実施	道徳教育の一環としての授業や、キャリアパスポート事業として児童生徒の自分の良さを見つめ直し、自己のキャリア形成に生かす教育を行った。	2:継続・維持	引き続き発達の段階に応じた体系的なキャリア教育を推進していく。	
2-(4)-②3				大学や近隣企業等と連携した取組みの推進	学校教育課	A:実施	インターネット中継で外部講師を招き、グローバルな視点での講演を行った。	2:継続・維持	大学や近隣企業等と連携した取り組みを他の学校へも広げていく。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
2-(4)-②4				Ⅰ 進路指導相談体制の充実	学校教育課	A:実施	各学校において、また教育支援委員会等を通じて進路指導相談体制の充実を図った。	2:継続・維持	引き続き進路指導相談体制の充実を図っていく。	
2-(4)-②5				Ⅰ「京都ジョブパーク」や「京都わかものハローワーク」の周知と、京都府と連携した若者や障がいのある若者に対する就職支援	社会福祉課	A:実施	障害者いきいきサポート窓口を設置し、障がいのある方に就労先の相談や福祉サービス事業所の紹介等の支援を行った。	2:継続・維持	今後も京都府やその他支援機関と連携し、就労および定着に向けた支援を行う。	
	基本目標3									
3-(1)-①1	安心して子どもを産み、育てることができる環境づくり	(1) 親と子の健康の確保	① 妊産婦保健対策の充実	Ⅰ 母子健康手帳・マタニティマークの交付	健康推進課	A:実施	妊娠届出者数(実人数) 618人、届出件数(母子健康手帳発行数) 629件	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①2				Ⅰ 妊婦健康診査受診券の交付	健康推進課	A:実施	妊婦健康診査受診者数 7459人。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①3				Ⅰ マタニティ広場の推進	健康推進課	A:実施	①歯科診察(4回・22人)②栄養士・助産師指導(4回・15人)③沐浴・育児指導(6回・37人)④ヨガオンライン指導(産前3回7人)、(産後2回2人)	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①4				Ⅰ 乳幼児健康診査の受診促進	健康推進課	A:実施	対象者に個別通知を行っている。また、欠席者には、翌月に再受診の機会を設けている。 〈受診率〉 乳児前期健診:97.1% 幼児健診:95.5% 幼児歯科健診:90.9% 3歳児健診:92.6%	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①5				Ⅰ 乳幼児健康診査未受診者への対策強化	健康推進課	A:実施	健診未受診児は、電話・家庭訪問により、こどもの様子を把握している。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①6				Ⅰ 乳幼児健康相談	健康推進課	A:実施	対象者に個別通知を行っている。また、欠席者には、翌月に再受診の機会を設けている。乳幼児相談希望者が多く、木津・加茂・山城ともに受診率は100%である。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①7				Ⅰ 乳児家庭全戸訪問事業	健康推進課	A:実施	家庭訪問 627名のうち601名(95.6%)	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①8				Ⅰ 不妊治療給付事業	健康推進課	A:実施	不妊・不育治療の助成を実施した。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①9				Ⅰ 予防接種	健康推進課	A:実施	定期予防接種の個別医療機関実施。乳児全戸訪問時、予診票、予防接種ガイドライン配布。臨時予防接種の集団・個別医療機関実施。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-①10				Ⅰ 出産育児一時金	国保年金課	A:実施	令和3年度 出産育児一時金支給件数45件	2:継続・維持	引き続き、被保険者の出産に対し出産育児一時金を支給します。	
3-(1)-①11				Ⅰ 産後ケア事業	健康推進課	A:実施	利用件数 宿泊型31件、日帰り型8件、利用実人数15名	2:継続・維持	継続実施していく。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(1)-②1			② 保護者の健康の保持・増進の推進	子宮がん・乳がん検診の受診の促進	健康推進課	A:実施	対象者全員(計17,400人)に個別通知を行った。対象年齢外であっても、前年度未受診の方には特例として受診を可能とし、受診機会の促進を図った。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-②2				がん検診の受診促進	健康推進課	A:実施	新型コロナウイルス感染予防策(後述のとおり)を講じつつ実施した。①実施日数を29日間に延長し受診者の分散化をはかった。②職員および来所者の検温、アルコール手指消毒の実施③密集を避けるための換気、二酸化炭素測定器による計測	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-②3				特定健診・特定保健指導の受診促進	健康推進課 国保年金課	A:実施	生活習慣病予防の重要性を伝え改善意欲の継続につなげる。 特定健診未受診者に受診勧奨通知を送付した。また、地域組織に協力を依頼し、チラシの地域回覧を実施した。特定保健指導未利用者へ通知と電話で利用勧奨を行った。	2:継続・維持	継続実施していく。 引き続き、受診率・指導率向上に向けて取り組みます。	
3-(1)-②4				健康づくりや生活習慣病予防の意識啓発	健康推進課 国保年金課	A:実施	食生活改善推進員によるバランス食の普及、特定保健指導時に生活習慣改善に対する意識向上、健やか木津川21プランに基づく健康づくり事業等による意識付けを行う。 集団健診受診者に対し、健診結果の見方や健康づくりについての説明会を実施した。40歳以上の希望者を対象に、健康運動教室及び栄養教室を実施した。	2:継続・維持	継続実施していく。 引き続き、市民の健康意識向上のために取り組みます。	
3-(1)-③1			③ 医療体制の充実	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の普及	健康推進課	A:実施	各健診・相談時に勧奨。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-③2				小児医療体制の充実	健康推進課	A:実施	相楽休日応急診療所継続開設	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-③3				小児救急電話相談番号の周知	健康推進課	A:実施	母子健康手帳交付、乳児全戸訪問、乳幼児相談等の際に案内している。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(1)-③4				相楽休日応急診療所についての周知	健康推進課	A:実施	広報・市ホームページに掲載。乳児全戸訪問事業にて説明している。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(2)-①1			(2) 食育や思春期保健対策の推進	① 食育の推進	離乳食講習会の充実	健康推進課	A:実施	新型コロナウイルス感染症対策として、集団指導・試食は取り入れず、乳幼児相談、健診の際に個別栄養指導実施。	2:継続・維持	継続実施していく。
3-(2)-①2					幼稚園、保育所、認定こども園、学校等における食育推進事業を通じた食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の促進	健康推進課	B:検討・計画中	新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度の事業は中止。	2:継続・維持	継続実施していく。
		こども宝課			A:実施	正しい食習慣を身につけられるよう、食育だよりの発行や食育を取り入れた保育を実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
				学校教育課	A:実施	小中学生に食育レシポコンテストへ応募いただき、入賞作品を広く市民に普及している。	2:継続・維持	引き続き実施		

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(2)-①3				「食に関する学習「5分間スタディ」の推進	学校教育課	A:実施	「5分間スタディ」を実施し、食に関する指導の充実を図った。	2:継続・維持	引き続き「5分間スタディ」を活用し、食に関する指導の充実を図っていく。	
3-(2)-①4				「栄養教諭による出前授業	学校教育課	A:実施	栄養教諭によ、食に関する指導の充実を図った。	2:継続・維持	引き続き栄養教諭による出前授業を活用し、食に関する指導の充実を図っていく。	
3-(2)-①5				「地元食材を使った伝統的な食文化の継承と魅力ある給食の実現に向けた地産地消の取組みの推進	学校教育課	A:実施	市内給食センターにおいて、地元食材を取り入れた献立の作成をした。献立だよりや毎日の給食放送、掲示資料等を用いて紹介することで、地元食材への興味・関心・知識を高めるとともに郷土愛を育むことができた。	2:継続・維持	今後でもできる限り地元食材を取り入れた献立の作成に取り組み、また周知することを続けていく。	
					こども宝課	A:実施	地元食材の給食への利用	2:継続・維持	引き続き実施する。	
3-(2)-①6				「望ましい食文化の継承に向け、地域と家庭の連携による食育の推進	学校教育課	B:検討・計画中	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の実施は見合わせた。	2:継続・維持	新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実施の有無を検討する。	
					こども宝課	B:検討・計画中	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の実施は見合わせた。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
					健康推進課	B:検討・計画中	新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度の事業は中止。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(2)-①7				「給食におけるアレルギー対応についてのマニュアル整備と教職員の研修の推進	学校教育課	A:実施	市内給食センターの施設状況に合わせて作成したアレルギー対応事務処理要領(事務の流れ)に基づき、より効率的となるよう工夫をしながら、アレルギー対応を実施した。また各学校のアレルギー対応の現状調査を行った。	2:継続・維持	市としてアレルギーの対応の決定や学校との連携、学校でのアレルギー対応指導についてのマニュアルを整備する。	
					こども宝課	A:実施	定期的な給食会議におけるアレルギー対応協議実施。(アレルギー対応に係る研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止から実施は見合わせた。)日常的にアレルギー児の食材については家庭と連携しながら個別に再確認を実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。マニュアルの確認、精査を行う。	
3-(2)-②1			② 学校等保健対策の充実	「幼稚園、保育所、認定こども園、学校と家庭との連携による望ましい生活習慣・食習慣の確立に向けた保護者への啓発	こども宝課	A:実施	保護者対応、園だより、食育だより配付等により啓発。(懇談については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最小限の実施となった。)	2:継続・維持	引き続き実施する。	
3-(2)-②2				「早寝、早起き、朝ごはん」キャンペーンの推進	学校教育課	A:実施	「早寝・早起き・朝ごはん」のため生活習慣、食習慣の確立に向けた保護者への啓発を行った。	2:継続・維持	引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していく。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(2)-②3	(3) 援助を必要とする家庭への支援の充実・子どもの貧困対策	① 障がいのある子どもに対する施策の充実	Ⅰ 学校等における健康診断や健康教育、健康相談の推進	こども宝課	A:実施	保護者対応、園だより、食育だより配付等により啓発。(懇談については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最小限の実施となった。)	2:継続・維持	引き続き実施する。		
				学校教育課	A:実施	学校保健安全法に基づく健康診断に加え、健康教育や健康相談を実施した。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
				こども宝課	A:実施	内科、歯科、眼科、耳鼻科検診及び身体測定について、以下の内容で実施した。 内科:2回、歯科:1回、眼科・耳鼻科:5~6月	2:継続・維持	引き続き実施する。		
3-(2)-②4			Ⅰ 専門機関との連携による感染症や生活習慣病の予防、性に関する教育、がん教育等の推進	学校教育課	A:実施	保健体育の授業の一環として性に関する教育やエイズ予防、生活習慣病の予防等を実施した	2:継続・維持	引き続き、エイズに関する事業を実施していきます。		
				国保年金課	A:実施	市内中学校5校で助産師による講演会を実施した。	2:継続・維持	引き続き、エイズに関する事業を実施していきます。		
3-(2)-③1			③ 思春期の心身の健康の保持・増進	Ⅰ 喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止教育の推進及びSNSに係る非行防止教育の推進	学校教育課	A:実施	各中学校にて喫煙・飲酒防止学習や、薬物乱用防止についての講演を実施	2:継続・維持	継続実施していく	
					健康推進課	B:検討・計画中	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き3年度も未実施。各中学校にて喫煙・飲酒防止学習や、薬物乱用防止についての講演を実施予定であった。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(2)-③2				Ⅰ 性や生命の尊重に基づく性教育の推進	学校教育課	A:実施	各学校において、児童生徒の発達段階に応じた性教育を実施した。	2:継続・維持	引き続き、生命の尊重に基づく性教育を推進する。	
3-(2)-③3				Ⅰ 食事や運動、睡眠等のバランスのとれた健康づくりの推進及び生活習慣の改善	学校教育課	A:実施	体力テストや健康診断の結果から体力や健康状態について分析し、様々な教育活動での健康教育に生かした。	2:継続・維持	引き続き、食事や運動、睡眠等の健康づくりの推進と啓発を行う。	
3-(3)-①1				Ⅰ 障がいの早期発見	健康推進課	A:実施	乳幼児健康診査・乳幼児相談・発達相談・家庭訪問・電話相談等において実施。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-①2	Ⅰ 発達相談	健康推進課		A:実施	臨床心理士による相談を実施。発達状況のアセスメント、こどもの特性への理解と育児への助言などを行う。面談、電話、訪問を含めて946件実施。	2:継続・維持	継続実施していく。			
3-(3)-①3	Ⅰ 幼稚園・保育所巡回相談	健康推進課	A:実施	こどものすこやかな成長を目的に集団生活での効果的な支援を行う。市内入園児 幼稚園3園、こども園及び保育園16園(年間45日)	2:継続・維持	継続実施していく。				
3-(3)-①4	Ⅰ 関係機関との連携強化による適正な就園・就学支援の推進	健康推進課	A:実施	関係機関と連携をはかり就園・就学に関する情報提供を行った。	2:継続・維持	継続実施していく。				
		学校教育課	A:実施	教育支援委員会を開催した。	2:継続・維持	関係機関との関係強化を推進する。				

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価								
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等
3-(3)-①5				Ⅰ 医療機関との連携による教育相談、療育相談の充実	健康推進課	A:実施	医療機関と連携し、心理士・保健師による情報提供および療育機関の紹介を実施した。	2:継続・維持	継続実施していく。
					学校教育課	A:実施	医療機関と連携し、就学相談を実施した。	2:継続・維持	充実に向けて検討を図っていく。
Ⅰ 障害福祉サービス事業				社会福祉課	A:実施	障がいのある児童について、障害福祉サービス(居宅介護、行動援護、短期入所など)の支給を行った。	2:継続・維持	引き続き、必要に応じ、障害者福祉サービスの支給を行う。	
Ⅰ 障害児通所支援事業				社会福祉課	A:実施	療育が必要な児童について、障害児通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス等)の支給を行った。	2:継続・維持	引き続き、必要に応じ、障害児通所支援の支給を行う。	
Ⅰ 補装具・日常生活用具給付事業				社会福祉課	A:実施	子どもを含め、補装具・日常生活用具給付事業を実施。	2:継続・維持	障がいのある子どもの日常生活を支援するため、引き続き補装具・日常生活用具給付事業を実施する。	
Ⅰ 障害者福祉タクシー利用券交付事業				社会福祉課	A:実施	子どもを含め、重度の在宅障がい者等を対象に福祉タクシー利用券交付事業を実施。	2:継続・維持	引き続き、事業を実施し、障がい者の外出を支援する。	
3-(3)-①10				Ⅰ 個別の指導計画や教育支援計画の作成と取組み	学校教育課	A:実施	個別の指導計画や教育支援計画を作成し、個々の状況に応じた指導を充実した。	2:継続・維持	今後も個別の指導計画や教育支援計画の作成と加筆等し、個々の状況に応じた指導を推進する。
					こども宝課	A:実施	障害児加配の配置等支援を要する児童の計画的な受入及び個別の指導計画を作成。今年度より加配検討会議を年2回から随時で開催するように変更したことで転入してきた児童の受入も行った。	2:継続・維持	継続して実施する。
3-(3)-①11				Ⅰ 支援ファイルを活用した支援継続	社会福祉課	A:実施	「もっとこファイル」について、主に知的障がい・重度の身体障がいのある児童について配布を行った。	2:継続・維持	引き続き、事業を継続していく。
3-(3)-①12				Ⅰ 誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくり	学校教育課	A:実施	授業改善に取り組み、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくりを促進した。	2:継続・維持	引き続き授業改善に取り組み、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくりを推進する。
3-(3)-①13				Ⅰ 特別支援教育コーディネーターの役割についての検討	こども宝課	A:実施	保育コンシェルジュが関係機関との連携を図るなど、保護者の相談に寄り添い、支援を要する児童の支援を行った。	2:継続・維持	継続して取り組む。



## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(3)-①14				Ⅰ 木津川市特別支援教育推進委員会や地域支援センターの活用による障がいのある子どもの支援	社会福祉課	A:実施	基幹相談支援センターとして社会福祉法人いづみ福祉会に相談業務を委託し、障がいのある児童について、相談支援を行った。	2:継続・維持	引き続き、相談支援を実施していく。	
3-(3)-①15				Ⅰ 特別支援学校や相楽地方通級指導教室等の関係機関との連携強化と、縦・横のつながりによる障がいのある子どもの支援	学校教育課	A:実施	特別支援学校や通級指導教室等と連携し、障害のある子どもの就学支援、教育支援を行った。	2:継続・維持	引き続き特別支援学校や相楽通級指導教室等と連携して、障害のある子どもの支援を行っていく。	
3-(3)-①16				Ⅰ 発達障害にかかる専門的な知識と技術を要する教職員の養成と特別教育支援員の計画的な配置	学校教育課	A:実施	発達障害のある児童生徒へのきめ細やかな支援を行うため、専門的な知識と技術を要する教職員の養成と特別支援教育支援員の計画的な配置に努めた。	2:継続・維持	引き続き、教職員の養成と特別支援教育支援員の計画的な配置に努める。	
3-(3)-②(7)1		② 子どもの貧困対策 (7) 経済的負担の軽減		Ⅰ 市内私立幼稚園保護者負担軽減補助金	こども宝課	A:実施	市内私立幼稚園在園児保護者に対し、保育料の補助を実施。	2:継続・維持	引き続き、私立幼稚園児保護者の負担軽減を図る。	
3-(3)-②(7)2				Ⅰ 育英資金交付事業	学校教育課	A:実施	経済的な理由により、高等学校等への進学が困難な家庭に対し、援助を実施した。	2:継続・維持	平成29年度より新入学生徒のみを対象とした。引き続き事業を実施する。ただし、原資となる基金残額の減少により、今後の在り方を検討する必要がある。	
3-(3)-②(7)3				Ⅰ 就学援助事業	学校教育課	A:実施	要保護・準要保護世帯に就学援助費を支給した。	2:継続・維持	引き続き要保護・準要保護世帯に就学援助費を支給する。	
3-(3)-②(7)4				Ⅰ 子育て支援医療制度	国保年金課	A:実施	15歳に達する日の年度末までが助成対象。出生や転入の際に制度の案内を行い、未申請者には勧奨通知を送付。	2:継続・維持	引き続き、15歳に達する日の年度末まで医療費の助成を実施します。	
3-(3)-②(7)5				Ⅰ 実費徴収にかかる補足給付事業	こども宝課	A:実施	幼児教育・保育無償化に伴い、子育ての経済的負担を軽減するため、日用品・文房具等や副食費の補助を行った。	2:継続・維持	引き続き、保護者負担軽減を図る。	
3-(3)-②(7)6				Ⅰ 要保護・準要保護世帯の児童生徒にかかる学用品費等の就学援助	学校教育課	A:実施	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者及び特別支援学級在籍児童の保護者に対し、児童に平等な教育の機会を与えることを目的に、就学援助費や学用品費の援助を行った。	2:継続・維持	引き続き要保護・準要保護世帯に就学援助費を支給する。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(3)-②(1)1			② 子どもの貧困対策 (1) ひとり親家庭の総合的な自立支援の推進	Ⅰ 高等職業訓練促進等給付金の支給	健康推進課	A:実施	対象者4名	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)2				Ⅰ 自立支援教育訓練給付金の支給	健康推進課	A:実施	対象者2名	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)3				Ⅰ ハローワーク等との連携による事業主への雇用促進の啓発	健康推進課	A:実施	くらしサポート課とのケースカンファレンスの実施	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)4				Ⅰ 保育所優先入所の推進	こども宝課	A:実施	利用調整基準に基づき実施	2:継続・維持	継続して取り組む。	
3-(3)-②(1)5				Ⅰ 子育て短期支援事業の利用促進	健康推進課	A:実施	短期入所生活支援(ショートステイ) 延べ31名(52日)利用	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)6				Ⅰ 母子・父子自立支援員による相談の推進	健康推進課	A:実施	母子・父子自立支援員1名配置	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)7				Ⅰ 経済的支援(生活保護費支給事業、ひとり親家庭医療費助成制度、母子家庭奨学金、児童扶養手当)	健康推進課	A:実施	母子家庭奨学金(府事業)に係る窓口及び申請補助を行った。児童扶養手当受給者数630名(R4.3.31時点)	2:継続・維持	継続実施していく。	
					くらしサポート課	A:実施	被保護者に対し生活保護法による支援事業を実施している。	2:継続・維持	今後も継続実施する。	
3-(3)-②(1)8				Ⅰ 養育支援訪問事業の推進	健康推進課	A:実施	相談員の訪問22件	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(3)-②(1)9				Ⅰ 生活困窮者に対する相談支援(「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口の開設)	くらしサポート課	A:実施	相談窓口を開設し、生活困窮者に対して相談支援を行っている。	2:継続・維持	今後も事業を継続し、画一的な対応とならないよう相談者の課題によって柔軟に対応する。	
3-(3)-③			③ 外国籍の子どもへの支援	Ⅰ 外国語学習支援員の配置	学校教育課	A:実施	ネパール語、英語圏の児童に対し支援員を配置した。	2:継続・維持	引き続き支援員を配置する。	
3-(4)-①1	(4) 相談・情報提供体制の充実	① 子育て関連情報の提供、相談体制の充実	Ⅰ 子育てガイドブックの作成	こども宝課	B:検討・計画中	子育てに関するサービス等の情報を発信するため、子育てアプリでの情報発信も考慮しながら、子育てガイドブックの改訂について引き続き検討する。	2:継続・維持	適宜内容を更新し、継続していく。		
3-(4)-①2				Ⅰ ホームページの充実	学校教育課	A:実施	開かれた学校を目指し、すべての学校でホームページを開設し、学校概要や特色、行事等を公開した。	2:継続・維持	引き続き、ホームページの充実を図っていく。	
					こども宝課	A:実施	子育て支援サイトの随時更新を行った。	2:継続・維持	引き続き、ホームページの充実を図っていく。	
				健康推進課	A:実施	情報を更新	2:継続・維持	引き続き、ホームページの充実を図っていく。		

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
3-(4)-①3				Ⅰ 家庭児童相談室	健康推進課	A:実施	家庭児童相談員3名配置(兼務)	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(4)-①4				Ⅰ 乳幼児健康相談	健康推進課	A:実施	対象者に個別通知を行っている。また、欠席者には、翌月に再受診の機会を設けている。乳幼児相談希望者が多く、木津・加茂・山城ともに受診率は100%	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(4)-①5				Ⅰ 発達相談	健康推進課	A:実施	臨床心理士による面接を実施。発達状況のアセスメント、子どもの特性への理解と育児への助言を行った。	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(4)-①6				Ⅰ 乳児家庭全戸訪問事業	健康推進課	A:実施	家庭訪問 627名のうち601名(95.9%)	2:継続・維持	継続実施していく。	
3-(4)-①7				Ⅰ DV相談	人権推進課	A:実施	女性センターの相談員により毎週金曜日の13時～15時に実施している。ただし緊急を要する事例もあるため、実質全開館日に相談を受ける体制をとっている。(休館日の月曜日は本庁で対応)。相談内容によって、精神科医や京都府家庭支援総合センターと連携している。令和3年度のDV相談件数は19件。緊急事態宣言中も相談業務は実施しており、前年のDV相談件数24件と比べて大きく差はなかった。	2:継続・維持	DV相談は多様化しており、軽易なケースから相談者の生命に関わるケースもあるため、慎重に対応しなければならない。また、近年、DV被害者が生活困窮者、精神疾患患者であることが多く、市役所担当課との連携を密にしていけることが必要である。	
3-(4)-①8				Ⅰ 民生児童委員・主任児童委員による子育て支援	社会福祉課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、木津民児協親子交流事業「たのしいひろば」は中止、乳児前期検診が個別に医療機関での実施となったため、2か月訪問の機会に保健師より啓発グッズの配布を行った。子育てネットワーク連絡会等や各種研修に参加し、子育て支援等について理解を深めた。	2:継続・維持	感染防止に努めながら、引き続き民生児童委員活動を通じた子育て支援を行う。	
	基本目標4									
4-(1)-①1	親子の笑顔を支える仕事と生活の調和の推進	(1) 子育て支援サービスの充実	① 多様な地域子ども・子育て支援事業等の提供	Ⅰ 待機児童の解消	こども宝課	A:実施	就学前児童の推移や入所申込の状況を見極めながら、国基準に遵守した保育定員の調整を図り、待機児童ゼロを継続した。	2:継続・維持	民間園等と連携し待機児童解消に向けた取組を継続する。	
4-(1)-①2				Ⅰ 一時預かり事業の推進	こども宝課	A:実施	公立3園、民間9園で事業実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
4-(1)-①3				Ⅰ 病児・病後児保育事業の推進	健康推進課	A:実施	教育・保育施設での周知の実施	2:継続・維持	継続実施していく。	
4-(1)-①4				Ⅰ 子育て短期支援事業(ショートステイ事業・トワイライトステイ事業)	健康推進課	A:実施	保護者等からの相談に応じ、適宜対応。	2:継続・維持	継続実施していく。	
4-(1)-①5				Ⅰ ファミリー・サポート・センター事業	健康推進課	A:実施	保育所等での周知の実施。	2:継続・維持	継続実施していく。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
4-(1)-①6			Ⅰ 地域子育て支援拠点事業		健康推進課	A:実施	広報誌等による周知の実施。	2:継続・維持	継続実施していく。	
					こども宝課	A:実施	子育て支援センター・つどいのひろばにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響による一時閉所や各種講座の開催自粛があったが、感染拡大防止を徹底しながら、子育て相談、子育て支援に関する各種講座の開催、子育てサークルの育成などを実施した。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
					学校教育課	A:実施	保育所等での周知の実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
4-(1)-①7			Ⅰ 放課後児童クラブ事業	学校教育課	A:実施	保育所等での周知の実施。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
4-(1)-②1	(2) 男女が協力し合う家庭づくり	② 保育事業の質の向上	Ⅰ 保育所定員の弾力化を縮小	こども宝課	A:実施	国基準に基づく保育の実施	2:継続・維持	引き続き実施する。		
4-(1)-②2			Ⅰ 育児休業満了時から利用できるよう、保育所定員の確保等環境整備	こども宝課	A:実施	復職に合わせて利用できるよう、定員確保に努めた。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
4-(1)-②3			Ⅰ 入所・入園手続きの簡素化	こども宝課	A:実施	自営業、介護・看護の事由認定に必要な民生児童委員等による証明書類を省略化の継続実施や、マイナンバーによる課税状況の照会等を実施。また一斉申込は原則郵送受付にすることで待ち時間の緩和や遠方の方を考慮、新型コロナウイルス感染症対策ができた。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
4-(1)-②4			Ⅰ 保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保(再掲)	こども宝課	A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、実施可能なりモートによる職員研修の実施等、幼保連携型認定こども園、保育所で質の高い教育・保育の提供体制強化を推進。	2:継続・維持	認定こども園で継続して質の高い教育・保育の実施		
4-(1)-②5			Ⅰ 認定こども園の設置に向けた関係課との連携(再掲)	こども宝課	A:実施	保護者ニーズに柔軟に対応できる教育・保育の提供体制を強化するため、関係部局と連携しながら検討を進めた。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
4-(1)-②6			Ⅰ 保育所や幼稚園、認定こども園の事業等に関する第三者評価の導入の検討	こども宝課	B:検討・計画中	一部の民間保育所において実施。公立園においても、引き続き導入検討を行う。	2:継続・維持	公営保育所での導入検討		
4-(1)-③1			③ 保育士確保事業	Ⅰ 保育士の待遇改善等を行う職員処遇改善補助事業等の活用	こども宝課	A:実施	保育士の確保や離職防止を推進するため、市内認定こども園の職員処遇改善事業に対して補助を行った。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
4-(1)-③2				Ⅰ 保育士の確保及び再就業支援事業の推進	こども宝課	A:実施	民間事業所との合同就職説明会を実施し、新規雇用を促進した。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
4-(2)-①1				① 家庭の協力体制の確立	Ⅰ 家庭における男女共同参画の推進	人権推進課	A:実施	「男女共同参画週間」(6月23日～29日)事業として、街頭啓発は新型コロナウイルス感染防止のため中止としたが、その代わりに市役所や女性センター等で啓発物品の配架をして啓発を行った。DVD上映会 & おしゃべり会は予定どおり実施した。参加者14人	2:継続・維持	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら継続していく。

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
4-(2)-①2				I 保護者の学びの支援(子育て講座、男女共同子育て講座、父親教室等)(再掲)	人権推進課	B:検討・計画中	例年、7月に親子クッキング、1月に男の料理講座を実施している。令和3年度は親子クッキングは新型コロナウイルス感染防止のため中止した。男の料理講座は実施予定であったが直前にまん延防止等重点措置が実施されたため急遽中止したが令和4年5月に振替をする予定。	2:継続・維持	引き続き実施を予定しているが、新型コロナウイルス感染防止のため、親子クッキングや男の料理講座は今後の状況を見て判断する。	
					こども宝課	B:検討・計画中	各保育所での人権講座や父親保育参加の促進行事について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の実施は見合わせた。	2:継続・維持	引き続き実施する。	
4-(3)-①1	(3) 仕事と生活の調和の推進	① 子育て支援の職場環境づくりの推進	I 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての啓発	人権推進課	A:実施	女性センターで3年前に作成した事業所向けワーク・ライフ・バランスのチラシや京都府からのチラシを配架して啓発を行った。	2:継続・維持	引き続き、チラシや講演会などで啓発を行う。		
人権推進課				A:実施	子育て支援に取り組んでいる企業の情報ではないが、再就職支援、保育環境の整え方などの情報提供が受けられるマザーズジョブカフェのパンフレットを配架している。	2:継続・維持	引き続き、継続していく。			
社会教育課				A:実施	サークル活動の活性化のため、サークル情報に特化した情報誌の作成及びHPへの掲載を行った。	2:継続・維持				
社会教育課				A:実施	新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら公民館講座25講座、市民講座7講座、生涯学習講座27講座を実施した。	2:継続・維持				
社会福祉課				A:実施	社会福祉協議会を通じ、ボランティアの募集及び育成を実施し、ボランティアガイド、チラシの作成のほか社協広報「きずな」のボランティアコーナーにて情報提供している。また、2年に1回、ボランティアフェスティバルを実施し、ボランティアグループの舞台発表や活動のパネル展示を行っている。(社協主催)	2:継続・維持	継続して実施する。			
社会福祉課				A:実施	市民向けにボランティアのことを知ってもらうための各ボランティアグループの活動発表と体験講座、災害ボランティアに関する研修会を行った。(社協主催)	2:継続・維持	継続して実施する。			
5-(1)-①1	子どもと子育てを支援する地域づくり	(1) 子育てを支える地域づくり	① 地域の子育て力の向上	I 子どもを社会で育てることの意義などの啓発	社会福祉課	A:実施	地域団体による子育てサロンや相談会の開催等を通して、啓発活動を行っている。	2:継続・維持	継続して実施する。	
					こども宝課	B:検討・計画中	広報等を活用した児童福祉週間の啓発について検討を行った。	2:継続・維持	広報誌等の活用など継続して取り組む。	

## 令和3年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	第2期計画 評価									
	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課	評価	令和3年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性及び課題等	
5-(1)-①2				Ⅰ 地域福祉活動による子育て支援の推進	社会福祉課	A:実施	民生児童委員と連携し、子育て家庭への支援に努めるとともに、社会福祉協議会を通じ子育てサロン等の活動支援を行っている。社協主催の子育てネットワーク連絡会(7/19、参加者24名)では、子育て支援関係団体がそれぞれの事業について報告や今後必要と思われる取り組みについて話し合い、情報共有を行った。また最新の子育てに関する知識や防災情報等について動画配信にて勉強会を実施した。	2:継続・維持	継続して実施する。	
5-(1)-①5				Ⅰ 老人クラブ活動等地域団体による子育て支援活動の促進	高齢介護課	A:実施	○世代間交流事業に参画することにより、駒まわし、竹馬などの昔遊びを通して、子どもの見守り活動や地域支え合い活動の推進を図った。 木津:コロナ感染拡大防止対策により中止 加茂:1月17日 76名	2:継続・維持	今後も次世代を担う子ども達との相互交流を昔遊びや集いの場を通してより一層深め、子どもの見守り活動や地域支え合い活動を促進する。	
5-(2)-①1	(2) 子育て交流の促進	① 子育て交流機会の提供	Ⅰ 地域子育て支援拠点事業の推進	社会福祉課	A:実施	社会福祉協議会を通じ子育て支援の拠点となる子育てサロン及びおもちゃの図書館活動などの交流活動に助成を行う。	2:継続・維持	継続して実施する。		
				こども宝課	A:実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援センターやつどいのひろばにおいて一時閉所等があったが、感染拡大防止を徹底しながら、子育て相談、子育て支援に関する各種講座の開催、子育てサークルの育成などを実施した。	2:継続・維持	引き続き実施する。		
5-(3)-①1	(3) 子育てネットワークづくり	① 子育て支援ネットワークの構築	Ⅰ 保護者のネットワークづくりの支援	こども宝課	B:検討・計画中	幼稚園等において、未就園児対象の行事等を開催し、就園前の保護者の交流支援を計画していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	2:継続・維持	新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、取組みを継続して		
				こども宝課	A:実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援センターやつどいのひろばにおいて一時閉所等があったが、感染拡大防止を徹底しながら、子育て世代の保護者交流や、子育てサロン・子育てサークルとの交流機会を設け、子育て支援を実施。	2:継続・維持	ネットワークづくりの支援を推進する。		
5-(3)-①2			Ⅰ 要保護児童対策地域協議会や児童相談所等との連携強化	健康推進課	A:実施	常に細やかな報告・連絡・相談の実施	2:継続・維持	継続実施していく。		
5-(3)-①3			Ⅰ 関係機関や地域団体、NPO法人やボランティア団体など、地域全体の子育て支援ネットワークの形成	社会福祉課	A:実施	社協主催の子育てネットワーク連絡会(7/19、参加者24名)では、子育て支援関係団体がそれぞれの事業について報告や今後必要と思われる取り組みについて話し合い、情報共有を行った。また最新の子育てに関する知識や防災情報等について動画配信にて勉強会を実施した。	2:継続・維持	継続して実施する。		
				こども宝課	A:実施	社会福祉協議会や子育てサロンの関係機関、NPO法人等との情報交換や交流を実施した。地域全体の子育て支援ネットワークの形成については、社会福祉協議会と連携しながら構築を図っていく。	2:継続・維持	継続して実施する。		